

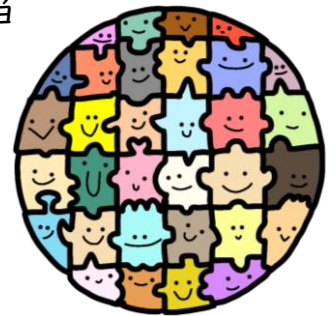


## 心かがやけ月間

今日から11月に入ります。今月は、熊本市が定める「心かがやけ月間」となります。この心かがやけ月間は、平成19年度にスタートし、熊本市内の学校で11月に道徳教育推進のために様々な取り組みを行っています。帯西では、道徳教育推進に力を入れていますが、なぜ道徳教育を大事にしているのでしょうか？それは、これからを生き抜く子供たちに必要な力を身に付けてもらうためです。帯西で最も力を入れているのは、人の役に立った、人から感謝された、人から認められた、という「自己有用感」の育成です。これは、自分と他者（集団や社会）との関係を自他共に肯定的に受け入れられることで生まれる、自己に対する肯定的な評価です。

今後はグローバル化がますます進展していくことが予想されます。生まれ育った環境、言語、多種多様な文化や価値観の違う人たちと接する機会も当然増えてきます。あるいは、身近なところにだって「自分とは違う」人がたくさんいます。様々な人間関係を通して、進んで協力できた、自分から働きかけができた、誰かの役に立つことができた、という集団の一員としての自信や誇りの獲得が課題となります。

その資質の育成のために、道徳教育の充実と「自己有用感」の育成を求めているのです。



## 今日は何の日 紅茶の日

今日11月1日は紅茶の日だそうです。1791年（寛政3年）11月1日、暴風雨のためロシアに漂着した船頭の大黒屋光太夫（だいこくや こうだゆう）が、ロシアの当時の首都ペテルブルク（現在のサンクトペテルブルク）で女帝エカテリーナの茶会に招かれ、日本人としては初めて紅茶を飲んだことが由来だそうです。

お茶には様々な種類があり、食事やデザートに合わせて選ぶことも多いです。私たち日本人が好む緑茶や紅茶、日本にも定着してきたウーロン茶…。それぞれ違う種類のお茶の葉だと思っている方も多いかもかもしれませんが、これらの茶葉の原料は全て同じなのです。これらは、同じ「茶の木」の新芽を摘んで加工したものです。茶の木はツバキ科ツバキ属の常緑広葉樹であり、その土地に合わせて改良されたものもありますが、原料としては同じ種類なのです。それぞれのお茶に個性があるのは、発酵の方法や度合いが異なることに関係します。茶葉には、「ポリフェノールオキシダーゼ」という酸化酵素が含まれているため、摘んだ後は徐々に発酵が進み、成分が赤みを帯びていきます。発酵の過程で茶葉の色や香りが変化していくため、それぞれのお茶は色も香りも異なるのです。

お茶の世界はとても奥深いので、今日の紅茶の日を意識しながら、ほっと一息つきながらお茶の時間を楽しんでみてはいかがでしょうか。

